

「研究紀要」発刊に寄せて

山梨県総合教育センター
所 長 天 野 信 一

令和7年度山梨県総合教育センター「研究紀要」が発刊されました。

学校現場では、「主体的・対話的で深い学び」を実現するため、授業観の転換、教師の役割の変化、学習環境の整備、評価方法の見直しなど、さまざまな課題に直面しています。また、不登校や特別な支援を必要とする児童生徒への対応においても、一人一人の教育的ニーズを的確に把握し、適切な教育を提供することが求められています。

本センターでは今年度、「新しい時代の学校教育の実現に向けた総合的な学校支援の充実～求められる資質・能力の育成に向けた実践的指導、校内研究の在り方～」を研究テーマに掲げ、学校現場が抱える多様な教育課題の解決に向けて、各研究推進校で行われている校内研究を支援し、協同で研究を進めてまいりました。具体的には、「授業づくり・学校づくり」「情報教育」「相談支援」の3つの研究領域において、4校の研究推進校の御協力のもと、7つの研究を展開しました。各研究の詳細につきましては、ぜひ本紀要の各頁を御覧ください。

また、2月のセンター研究大会では、東京学芸大学大学院教授 西村圭一先生をお迎えし、「探究文化を芽吹かせる学校づくり ～これからの『探究』を考える～」と題して御講演いただきました。近年、子供が主体的に学びをつくる授業への転換が強く求められています。その中心にあるのが、子供自身が問いを立て、仲間と考えを深め、学びを創造していく探究のプロセスです。探究を授業の中に根付かせることは、学校文化そのものに関わる重要なテーマです。今回の御講演は、先生方の日々の授業づくりと探究的な学びのつながりを改めて見つめ直す機会となりました。ここから各校で新たな実践が芽吹いていくことを期待しております。

本センターは、「学校教育を支援する確かな情報発信源としての総合教育センター」を基本方針とし、教職員の資質・能力の向上や学校教育の課題解決に向けて、関係機関と緊密に連携しながら、研修、研究、相談、開発及び普及啓発に関する業務を推進しています。

本研究紀要が、先生方の日々の教育活動の一助となるとともに、研究推進校と本センターの協同研究の成果が県内の多くの先生方に共有され、各学校の教育の一層の充実につながることを願っております。

結びに、御多忙の中で校内研究を推進し御協力いただいた研究推進校の皆様、そして専門的な立場から御指導くださった山梨大学の先生方をはじめ、関係機関の皆様に深く感謝申し上げます、発刊の御挨拶といたします。